

令和3年度各地区ミーティング回答事項の対応方針調書(5.萱瀬)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
1	新庁舎建設について	現庁舎周辺へ建替えとなると、国道から右折が必要で交通面から危険である。新幹線も開業するし消防署や警察などがある市の中央部に移転する方がよいと考えるがいかがか。	現在、中心地にある西大村地区も含めた7か所の建設候補地の中から、ゼロベースで建設計画地の検討を進めております。貴重なご意見として今後に活用させていただきます。	総務部長	総務課新庁舎整備室	総務部長回答のとおり
2	萱瀬小への特別転入学制度の導入について	萱瀬小学校の特別転入学制度について市議会の質問において、教育委員会の回答は学校・保護者・関係機関と協議するという内容であったが、その後の経過等進捗があればご説明いただきたい。萱瀬小の児童数が減少しており、令和3年度は複式学級の可能性もあると聞いており、ぜひ特別転入学制度の導入をお願いできないか。	現在、黒木小・松原小学校で特別転入学制度を導入しており、萱瀬中学校への入学を希望している方もおられる。萱瀬小・中学校は全国的にも学力が高く優秀である。地域のみなさまのご意見を伺いながら黒木小・松原小のような特色ある学校づくりを参考にして萱瀬地域の特別転入学制度について検討していきたい。	教育長	学校教育課	学校規模適正化を今後進める中で、特別転入学制度の可否を含め検討してまいります。
3	防災マップについて	事故等で市道や国道が通行止めとなった際、防災マップで迂回路を探すのが県道はわかるが市道が見えない。萱瀬地区は縮尺が1/15,000でわかりづらいので、縮尺を1/10,000にして地図全体を濃くするなど工夫ができないかお願いしたい。	エリアをどのように示していくか工夫が必要かと思うが、次回作成する際はご提案を踏まえてわかりやすい防災マップの作成に努めたい。	総務部長	安全対策課	総務部長回答のとおり
4	ダム運動公園広場の整備について	若いお母さんたちが子どもの遊び場がないと言われているが、ダム運動公園広場の半分程度は草が生い茂っている。もう少しにぎわうように整備してほしい。	①ダム運動公園の遊具設置の計画はないが、地区要望として提出していただければ大村市としても動きやすいと思う。 ②来年4月に黒丸に子ども冒険広場がオープンする予定なので楽しみにしていただければと思う。	①都市整備部長 ②市長	河川公園課	①ダム運動公園は県の施設になるため、今後、地元要望を確認して県と調整していきたい。 ②市長回答のとおり
5	市営住宅の建設について	北川内の住宅に住んでおり、子どもが黒木小・萱瀬中学校に通学することが条件で入居しているが児童数が減少している。また市営住宅の建設ができないか。	①黒木住宅の件だと思うが、退去後に応募者も少なく空き住宅となるケースがあり、現在4戸の入居者の維持を最優先と考えている。増設の計画は難しい。 ②新たな市営住宅の建設は難しいが、黒木小・萱瀬中の取組を踏まえ、特別転入学制度も視野に入れて児童数の確保に努めていきたい。	①都市整備部長 ②市長	建築課	①都市整備部長回答のとおり ②市長回答のとおり
6	都市計画用途の見直しについて	農用地の見直しや耕作放棄地についてどのように考えているか。 都市計画用途の見直しについてどのように考えているか。	①農用地の変更は基本的に難しいが、耕作放棄地を未然に防ぎ新たな農用地の活用など農地の集積に努めている。大村市の貴重な農地として残していきたいと考えている。 ②令和2年度から都市計画マスタープラン等の見直しを実施しているが、農用地を都市計画用途地域として広げることは難しい。新幹線新駅周辺は用途地域を変更しており、萱瀬地区では、荒瀬町の一部の郡川左岸までが用途地域となっている。その他の郡川周辺については農用地となり用途地域の指定は難しい。 ③新幹線新駅開業に向け都市計画道路が開通し用途地域が変更されている。現在、都市計画マスタープランや立地適正化計画の見直しを行い都市計画の全体像の協議をしている段階なので、貴重なご意見として受けとめたい。	①産業振興部長 ②都市整備部長 ③市長	農林水産振興課 都市計画課	①、② 【農林水産振興課】 産業振興部長、都市整備部長回答のとおり ②、③ 【都市計画課】 都市整備部長、市長回答のとおり
7	宅地整備について	萱瀬地区の園児数が年々減少してきている。若い人が萱瀬地区で子どもを育てられるよう、農地を宅地にするなど住環境の整備をお願いしたい。	農業振興地域の農用地は残していくことが必要と考えている。農振地域以外の農地は別の用途に利用することは難しい。具体的な場所についてのご相談は、農林水産振興課・農業委員会へご連絡いただきたい。	産業振興部長	農林水産振興課	① 【農林水産振興課】 産業振興部長回答のとおり

令和3年度各地区ミーティング回答事項の対応方針調書(5.萱瀬)

番号	質問項目	内容	回答	回答者	担当課	対応方針
8	新幹線開業に対する大村市のビジョンについて	新幹線が令和4年秋に開通し便利になる一方、大村市は通り過ぎる町になってしまっている。交通要衝地なのに観光客も少なく経済効果が薄い。大村市の将来のビジョンについてお聞きしたい。	来年は市政施行80周年、ポートレース70周年、新幹線開業もあり大きな節目だと考えている。新幹線開業の進め方には①プロモーション、②観光商品づくり、③移住定・住促進の3つの柱がありこれがビジョンと考える。新幹線周辺の土地利用や空港・高速道路利用による住みやすいまちづくりができると考えている。 県北への利便性を高めるため、東彼杵からハウステンボス間の道路整備の要望を行っており、実現すればさらに都市機能が充実し市の発展につながると思う。 観光・移住定住等のまちづくりのきっかけを新幹線開業に結びつけていきたい。	市長	新幹線まちづくり課	市長回答のとおり
9	北川内～野岳線の道路について	北川内～野岳線が昨年の水害被害により通行止めとなっている。国道444号沿いの住民には迂回路がない場合もある。復旧見込みがわかれば教えていただきたい。	似田の尾・北川内線は林野庁の管轄であり、長崎森林管理事務所に工事を行ってもらっている。9月10日に確認したところ10月中旬に工事入札予定と聞いている。工期の確認は取れていない。復旧時期は未定であり、もうしばらくお待ちいただきたい。	都市整備部長	道路課	市道似田ノ尾北ノ川内線につきましては、令和2年7月豪雨により、市道の山手側から土砂崩れが発生し、現在も山手側の斜面上に転石が多数存在しており、市道への落石等、事故の危険性があることから、通行止めといたしております。 被災した斜面については、今年度、長崎森林管理事務所において、復旧工事に着手する予定となっておりますので、進捗状況を確認しながら、市道に堆積した土砂等を撤去する復旧工事を実施し、通行止めの解除を行う予定としております。 現時点での復旧時期は未定であるため、申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちください。
10	道路整備について	久原・池田線から竹松郵便局への道路が混雑する。また、沖田線は1車線になっているが、なぜ2車線にされなかったのか。道路が整備されれば人口増加につながると思う。	①都市計画道路は将来交通量を考え車線等を計画している。池田・沖田線、国道、杭出津・松原線に分散する見込みで車線数を決めている。池田・沖田線が令和4年3月に開通することで竹松郵便局周辺の渋滞は緩和されると考える。 国の交付金・補助金を活用する公共事業では、無駄な車線整備は会計検査院の指摘もあり難しい。 ②都市計画道路が郡中まで開通することにより交通量は分散していくと考える。都市計画道路の見直しを行っており、現況に沿った整理が必要と考えている。	①都市整備部長 ②市長	道路課	市長、部長回答のとおり
11	①市営住宅について ②市営住宅前の横断歩道設置について	①市営住宅に住んでいるが、黒木小学校の児童数が減少している状況なので、市営住宅を増やす計画はないのか。 ②市営住宅前に横断歩道を設置するには黒木小学校前の横断歩道をなくさないといけないと聞いた。学校前の横断歩道はふれあい地区のバス利用の児童が渡るためだと認識しているが間違いはないか。	①黒木地区に市営住宅を増やす計画はない。住宅が空いた期間が15ヶ月あり、改善が必要と感じている。居住開始から約10年が経過しているためこれまでの経過、サイクル等をみれる時期だと思う。児童数の確保は、萱瀬小・中学校等の連携がうまくされているので、他校の運営のあり方とあわせて協議していきたいと思う。住宅前の横断歩道については、PTAから要望があり警察と協議をしていたが、学校前の横断歩道との関係については再度警察、県央振興局へ確認してみる。 ②黒木小・東大村小は複式学級があり、少人数の良さや中1ギャップの問題とあわせて保護者のご意見を伺いして状況を考えなければならぬと考える。 黒木住宅前の横断歩道については、警察にお願いしたが難しいという回答だった。横断歩道設置の希望があれば継続して取り組んでいきたい。	①市長 ②教育次長	①建築課 ②社会教育課	①【建築課】 市長回答のとおり ②【社会教育課】 市長、教育次長の回答のとおり。
12	黒木小前の横断歩道について	小学校の横断歩道は、上にある住宅の方が通学される際に横断歩道ができていたと思う。	経過も含めて確認したいと思う。	市長		